令和４年度　看護部　教育計画

舞鶴医療センター　教育目的
1．看護倫理に基づいた行動がとれるように人間性豊かな感性をはぐくむ
2．科学的根拠に基づいた看護実践力を育成する
3．社会の動向、医療のニーズに対応するため、主体的学習を支援し、質の高い看護サービスを提供できる人材を育成する

	到達目標	人数	担当者		役割	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	課題ﾚﾎﾟｰﾄ
レベルⅠ	看護実践に必要な基本的能力を習得する			集合研修	・消耗品・製剤等物品管理における係のメバー（SPD係）	採用時研修 1.4.5.15.22	採用時研修 6/13:30～16:00	侵襲の高い看護技術（吸引・採血） 3/13:30～15:30	倫理研修 1/13:30～15:00	侵襲の高い看護技術（バルンカテーテル留置） 12/13:30～15:00		ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ呼吸 7/13:30～15:00	リフレッシュ研修 4/8:30～17:15	輸血・麻薬 2/13:30～15:00		【ﾘﾌﾚｸｼｮﾝ】 看護観の発表 10/13:30～15:30		その人らしさを支える看護とは
						IVナース 輸液管理受講					静脈内留置針 2/13:30～15:30	筆記試験 7/15:00～		合格者 レベルⅢ認定				
				現場教育							静脈内留置針 部署で演習	静脈内留置針 口頭試問・実技試験		実際の看護場面で KYT（レベルⅢと） →	→	→		
						夜勤ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ 夜勤完全シャドー1回		夜勤一人立ち (6月末目途)					入院受け ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ →	→	入院受け（指示受けは除く）	指示受け 病棟間研修 →		
						*年間を通じて必要時プリセプター面談を行う						ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ（特定行為看護師と） 呼吸管理 →						
レベルⅡ	①根拠に基づいた看護を実践する ②後輩と共に学習する			研修 集合	・消耗品・製剤等物品管理における係のリーダー			ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ 循環 17/13:30～15:00	倫理上のジレンマ 15/13:30～15：00			ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ 脳神経 14/13:30～15:00			臨床推論 13/13:30～15:00			エビデンスに基づいた看護とは
				現場教育				ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ（特定行為看護師と） 循環 →				QQシャドー研修 →						
レベルⅢ	①個別性を重視した看護を実践する ②看護実践者として、後輩に支援的役割を果たせる			集合研修	・小チームリーダー、サブリーダー ・日々のリーダー ・プリセプター			医療倫理・看護倫理 ケーススタディオリエンテーション 10/13:30～15:30			医療安全 模擬カンファレンス KYT 16/13:30～15:00		ケーススタディ 発表会 11/13:30～15:30					自部署の看護力を高めるあめの自己の役割遂行
				現場教育								日々のリーダー オリエンテーション		日々のリーダー 開始	ケースカンファレンス司会			
								・退院前後訪問も含めた退院支援の実施 ・ケーススタディ →			インシデントカンファレンスの実施 → レベルⅠとKYTの実施			→				
レベルⅣ	①後輩の学習を支援する ②チームリーダーとして役割行動がとれる			集合研修	・リスクｏｒ感染リンクナース（委員会の参加） ・チームリーダー ・OJTの指導 ・診療科ラダーの講師		問題解決技法 業務改善 20/13:30～14:30		QC中間指導（個別対応）		【倫理】 倫理問題の解決 30/13:30～15:00	ディベート 28/13:30～15:00	①業務改善成果発表 18/13:30～15:00			看護研究とは 17/13:30～15:00		意思決定を支える看護とは
				現場教育			・部署内の看護の質・業務改善に向けた取り組み →											
														・高度かつ複雑な看護を必要とする患者の倫理カンファレンスの開催					
														・APRINeラーニングの受講				
							・専門学会や近畿ブロック主催の研修、看護協会の研修に2回以上参加											
レベルⅤ前期	専門性の発揮、管理・教育的役割モデルとなり、研究的に取り組む			集合研修	・代行 ・実習指導 ・学習会のリーダー（院外研修の伝達講習も含む）			看護管理研修20H （eラーニング） 24/8:30～ →			9/8:30～				【倫理】 虐待 16/13:30～15:00			自部署の看護サービスを向上させるための自己の取り組み
				現場教育				・多職種倫理カンファレンスの開催調整とリーダーシップ ・倫理の研修の後輩への伝達										
レベルⅤ後期				集合研修					29/8:30～					研究論文提出（教育担当師長・看護部長室）	看護研究・QC活動発表 20/13:30～			
				現場教育			・研究計画書を作成させ倫理委員会に提出（出来次第、教育担当看護師長へ提出） ・多職種倫理カンファレンスの開催調整とリーダーシップ ・看護研究もしくは組織横断的に働きかけられるようなQC活動とする。どちらも研究的思考で取り組み、最終的には院外発表をする。									
プリセプター	1．新人にとって最も身近な相談者となる 2．新人の役割モデルとなる			集合研修			フォロー② 関係性支援 27/13:30～14:30									振り返り③ 24/13:30～14:30	時期① 17/13:30～14:30	
全員職員	患者急変時に必要な基本的な行動が実践できる			集合研修			BLS研修 24/14:45～		BLS研修 26/14:45～		BLS研修 27/14:45～		BLS研修 22/14:45～		BLS研修 24/14:45～			
	キャリアアップを目指し自己研鑽する								開催される院外研修を活用し学習する									